



平成29年7月28日
株式会社 中国銀行

TSUBASA金融システム高度化アライアンス加盟行による
人工知能(AI)文章解析技術導入に向けた実証実験の開始について

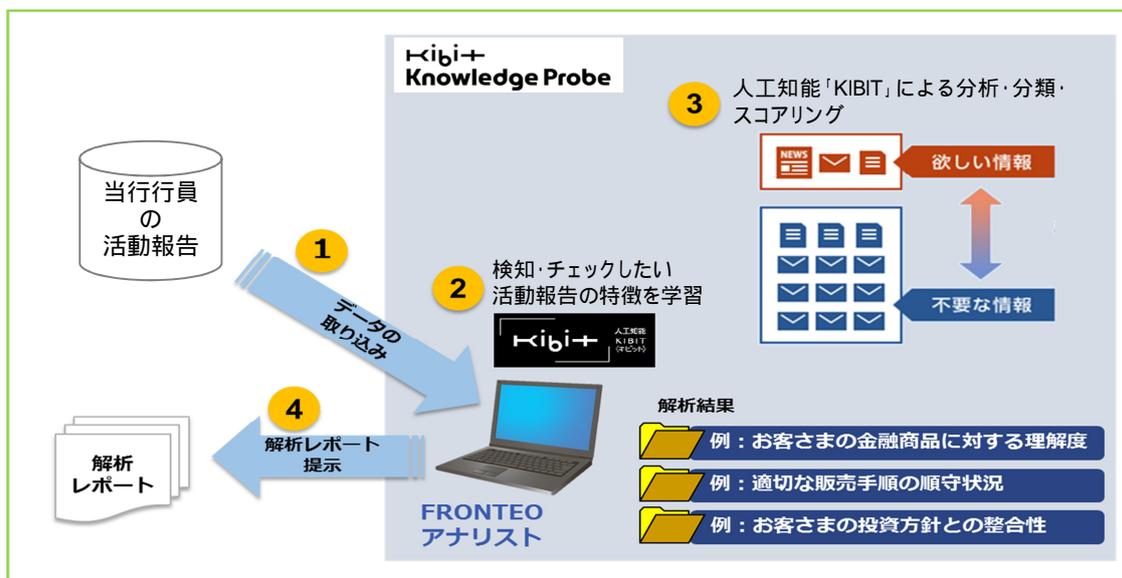
当行は、「TSUBASA金融システム高度化アライアンス」加盟行および共同出資会社のT&Iイノベーションセンター株式会社(取締役会長 森本 昌雄、以下「T&I」という)と共同で、平成29年7月28日(金)より人工知能文章解析技術導入に向けた実証実験を開始いたします。

今回の実験は、資産運用などの当行行員の活動報告について、株式会社FRONTEO(フロンテオ、代表取締役社長 守本 正宏)が独自に開発した人工知能「KIBIT(キビット)」を用いて文章解析し、お客さまのニーズ分析や営業活動における課題抽出などモニタリング業務の効率化を目的としています。

今回の実験にアライアンス加盟行とT&Iが共同で取り組むことで、数多くの事例の収集・学習やノウハウの共有が図られ、解析技術の向上にもつながるものと考えております。実証実験の結果を踏まえたうえで、本格導入を検討してまいります。

1 フィンテックをはじめ、先進的なIT技術を調査・研究するために発足した枠組みで、現在、当行、千葉銀行、第四銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行の6行が加盟しています。

<人工知能「KIBIT（キビット）」による実証実験のイメージ>



<「KIBIT（キビット）」について>

人工知能「KIBIT（キビット）」は人工知能関連技術の Landscaping と行動情報科学を組み合わせ、株式会社FRONTEO（フロンテオ）が独自に開発した日本発の人工知能エンジン。「KIBIT（キビット）」という言葉は、人間の心の「機微」（KIBI）と、情報量の単位である「ビット」（BIT）を組み合わせたもので、「人間の機微を理解する人工知能」を意味している。人間の暗黙知や感覚を学ぶことで、テキストから文章の意味を読み取り、人間に代わって判断や情報の選定を行うことができる。

<株式会社FRONTEO概要>

商号	株式会社FRONTEO（フロンテオ）
所在地	東京都港区港南2-12-23
代表者	代表取締役社長 守本 正宏
資本金	2,481百万円
事業内容	リーガル事業（訴訟時の電子データ収集等）、AI事業（解析事業）